

令和3年度 児童発達支援自己評価表

項目	質問内容	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
体制整備・環境	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		部屋の大きさ差があるので、活動内容に合わせてスタッフ同士で話し合ったり、使用頻度に偏りがないように配慮している。(市)
	② 職員の配置は適切であるか	○		個別対応が中心だが、フリーのスタッフを一人配置し、緊急時の対応に備えることができている。(市)
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		部屋の間をパーテーションで仕切り、子どもの配置に気を付けている。また、コーナーガードやセーフティクッションを付け安全面に配慮している。(高)
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		毎日掃除や消毒を行っている。机、椅子をそれぞれの子どもに合わせて高さを変更している。(市)
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		毎朝の朝礼、月ごとの会議にて全スタッフで共通理解をはかれている。(市)
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		アンケート調査にご協力頂き、保護者の意見を取り入れ、改善に努めている。(高)
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページで公開していると共に、事業所内にも掲示している。(市)
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		フランチャイズ本部による評価を参考にしている。(高)
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○	今年度はオンラインで研修に参加している。また、通常だとフランチャイズ本部による定期研修や、民間団体による研修にも参加している。(市)
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		フィードバックを通して保護者との面談を行い情報共有をしている。また、各児童の日々の様子を記録し計画を立案している。(市)
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		独自に開発されたアセスメントツールを導入している。最低でも三か月に一度見直し、情報を更新している。(市)
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		療育記録作成時に支援計画の内容と、最新の情報を参考にして支援をおこなっている。(市)
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		毎朝の朝礼、月ごとの会議、毎時間ごとの振り返りを通し情報共有を行い、スタッフ間で話し合いながら考案できている。(市)
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		療育教材やプリントを活用し、スタッフ間での話し合いを通して様々な活動ができるよう工夫している。(高)
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか		○	個別トレーニングがメインになっている。フィードバックの時間は個別の児童全員での活動に取り組んでいる。(市)
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		トレーニング担当職員は最低でも一週間前に割り振り、考案段階で話し合いをし、支援内容、役割分担の確認を取っている。(市)
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		トレーニング終了後にその時の様子を共有しながら独自のシステム上の日誌に記録を残し、各自で確認を取っている。就業時間の関係で報告が不十分になることもあるので、翌朝の朝礼で具体的な共有を図るようにしている。(高)
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		研修時に記録の残し方について指導され、そのやり方に基づき、児童の様子を具体的に記録することができている。(市)
⑳ 定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		児童の様子、トレーニング後のフィードバックでの内容を踏まえ随時計画書の見直しを最低でも三か月に一度は更新し、最新の情報を反映させることが出来る。(高)	
係機	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		各児童に担当を設けず、職員が同じ情報量を把握するように共有をしている。(市)
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		支援計画更新時に各児童の担当支援員に児童の情報を提示し、共通理解を図るようにしている。他事業所の見学なども行い、コロナの影響が響く中でも連携を心掛けている。(高)

関 や 保 護 者 と の 連	23	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	保育園の方に訪問いき児童の様子を見ながら情報共有を行った。コロナの影響で自粛しているので、保護者を介しての連携形態になっている。(市)	
	24	移行支援として、小学校や特別支援学校(初等部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	保護者を介しての連携になってしまっている。(市)	
	25	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	コロナの影響で他事業所の施設見学は自粛していた。オンラインで他事業所のトレーニングの様子を見させていただき研修を行った。(高)	
	26	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○	通所している生徒同士の交流はあるが、外部の児童との交流は支援形態より課題が多く実行できていない。(市)	
	27	協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	コロナの影響で自粛の傾向にある。(市)	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	フィードバックの際に毎回情報共有をし、支援に反映させている。(市)	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	○	フィードバックの際に毎回相談を受け付け対応して。より具体的な面談を要する際はトレーニング時間後にも対応している。講習会などは開催できていないので、コロナが落ち着き次第対応したい。(高)	
	保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	体験、ご契約時に丁寧に説明できている。疑問質問にはその都度対応し、納得して通所いただけるよう努めている。(高)
		31	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○	個別支援計画書作成時、更新時には項目ごとのねらいや、支援の方針などを丁寧に説明し、納得していただいたうえで同意していただいている。(市)
32		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	フィードバックの際に家や園での様子を伺い、最新の課題を共有し、必要な情報や家庭でできる支援などの助言を行っている。(市)	
33		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	コロナの影響で自粛の傾向にある。(市)	
34		子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	保護者からのご相談があった場合、次回ご利用時よりご希望の内容に沿えるよう、スタッフ間で話し合い、療育記録に取り入れ迅速に対応している。	
35		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		
36		個人情報の取扱いに十分注意しているか	○	個人情報保管されている棚は施錠し、スタッフしか取り扱えないよう配慮している。	
37		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
38		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	個別での支援が多いため行事開催が難しい。また、コロナの影響で外部との接触は自粛している。(市)	
非 常 時 等 の 対 応	39	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	マニュアル化し、スタッフ間での周知はできている。保護者に対しても、具体的に説明、対応していく。(市)	
	40	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	半年に一度避難訓練を行い、その様子を資料にまとめる他、事業所内に掲示している。(市)	
	41	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○	体験、ご契約時の際、服薬、てんかん、その他の持病に関する情報は保護者から直接伺い、記録に残せている。(高)	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	体験、ご契約時の際、アレルギーに関する情報、服薬物は保護者から直接伺い、記録に残せている。(高)	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	その都度作成し、スタッフ間で共有し、再発防止につなげている。(市)	
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	職員会議の際に、虐待防止の研修をおこない、スタッフ間で共有している。(市)	
45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○	身体拘束が必要になる対象の児童がいらないが、危険な状況下では安全面を優先し、すぐに保護者にご確認いただくよう説明了解を得ている。(高)		